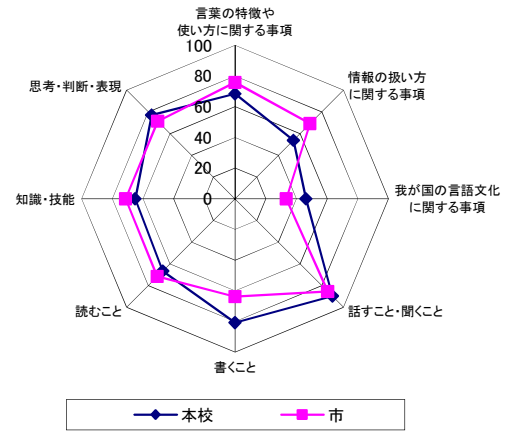


宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使いに関する事項	68.4	75.8	77.5
	情報の扱い方に関する事項	53.8	69.1	67.0
	我が国の言語文化に関する事項	46.2	33.5	37.2
	話すこと・聞くこと	89.7	85.5	86.5
	書くこと	80.8	63.9	65.8
	読むこと	66.7	71.6	69.5
観点別	知識・技能	65.0	71.3	72.9
	思考・判断・表現	76.9	71.3	71.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

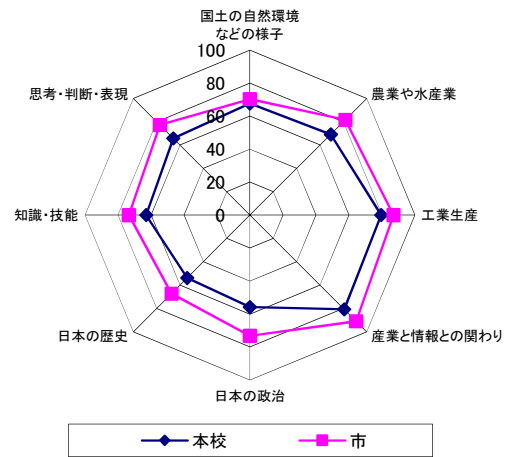
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字の読みに関して、全3問中2問は正答率100%を達成しているが、残る1問は正答率が低かった。 ●漢字の書きは、どの問題も一様に定着が弱く、書字能力に課題が見られた。 ●文と文の接続関係の理解が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で使う熟語について、読み方だけではなく、使われるシーンや意味と関連付けて指導していく。また、日頃から既習の漢字を使うよう今後も声掛けを行い、文章の中で文脈に沿った漢字を適切に使うことができるようにしていく。 ・接続詞の役割を再確認し、文のつながりを意識した分かりやすい文章表現を、日頃の作文等を通じて定着させる。
情報の扱い方に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報間の因果関係を捉える力に課題がある。事象の原因と結果を正確に結び付けて理解する指導を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習などにおいて、複数の情報を集め、メモを取り、分かりやすくノートにまとめる活動を通して、情報を整理する力を高める。 ・「原因と結果」の関係を正しく結び付けて理解する力に課題があるため、情報のつながりを読み解く練習を日常的に取り入れる。
我が国の言語文化に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○普段の学習で国語辞典を用いて意味調べをすることを習慣化し、語句の由来にも関心をもち、和語・漢語・外来語の区別についても正しく理解できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き漢字辞典や国語辞典を活用して、意味調べを行うことで、語句の由来など言葉への関心をさらに高めていく。
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○話の内容を正確に聞き取り、詳しく聞き出すための質問の仕方について理解できている。</p> <p>○自分が聞きたいことに対して話の内容を正しく捉え、記述問題の正答率も高かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習の際に、インターネットや本だけでなく、インタビュー形式での取材の機会を設け、質問の工夫を実践したり、ニュースなどから必要な情報を得たりするなどして、さらに力を高めていく。 ・今後も話の内容を正しく捉え、意図に応じて質問を工夫できるように指導を続けていく。
書くこと	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○目的や意図に応じて伝えたいことを明確にしながら、決められた文字数で書くことができおり、普段から条件を設けて文章を書く活動を取り入れてきた成果の表れであると考えられる。</p> <p>○2つの案から自分で選択し、その理由を明確に書くことができおり、授業の中で自分の考えを伝えるときに、どうしてそう考えたのかという理由付けを行ってきた成果が表れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料を読み取り、それを基に文章をまとめることに課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科を問わず、自分の考えを書く活動を引き続き設け、書き方の指導を行う。その際、条件を踏まえること、構成を考えて書くことなどを丁寧に指導していく。 ・また、インタビューなどを基に文章をまとめる際には、目的や意図を明確に把握し、簡潔にまとめる書き方を意識させるとともに、友達同士で書いたものを見直すなどして、よりよい表現になるよう考えさせる。
読むこと	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○説明文では、文章全体の構成を捉えたり、目的に応じて文章の情報を整理したりすることができおり、説明文教材において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基におさえ、文章全体の構成をとおらえて要旨を把握したりしてきた成果と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物語文では、物語の内容を読み取り、登場人物の心情について描写を基に捉えることや、話の全体像を想像しながら読むことに課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力を高めたり、背景の描写に気をつけて読み取ったりすることで、人物像や心情を捉えられるようにする。 ・物語教材で、叙述を基にしたり、背景の描写に気をつけて読み取ったりすることで、人物像や心情を捉えられるよう指導していく。また、ペア学習など学習形態の工夫や一人一台端末の活用を行い、友達と考えを交流し、自分の考えを深めることができるような授業を行う。

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	67.7	70.3	66.4
	農業や水産業	69.2	81.6	75.3
	工業生産	79.5	87.0	77.7
	産業と情報との関わり	80.8	91.0	81.3
	日本の政治	55.8	73.2	75.3
	日本の歴史	53.8	67.4	68.5
観点別	知識・技能	63.0	73.5	72.5
	思考・判断・表現	65.8	77.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

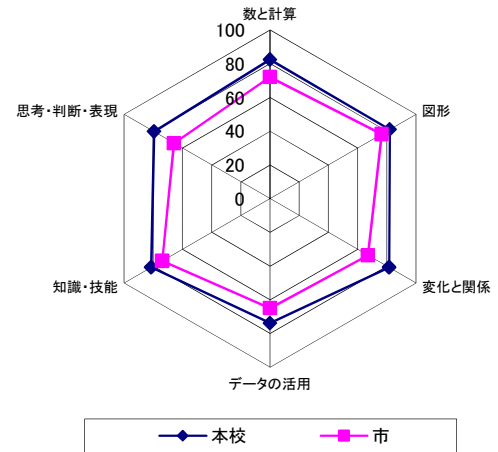
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○赤道が緯度0度の地点を結ぶ緯線であること等よく理解できている。</p> <p>●人工林の役割についての理解に課題が見られる。</p>	<p>・自然環境の学習については、授業の導入でミニテストやフラッシュカードに繰り返し取り組むとともに、地図帳を活用することで知識の定着を図っていく。</p> <p>・スクールタクト等のICTを活用したグループ学習を取り入れて、森林とくらしの関わりについての学習を展開する。</p>
農業や水産業	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○水揚げされた魚の出荷作業における工夫について理解できている。</p> <p>●コメの品種改良の理解について課題が見られる。</p>	<p>・日本の産業の特徴を統計資料から読み取れるように、見るべきポイントを押さえて読み取らせることで、焦点化を図った授業を展開していく。品種改良については、よりよい特徴をもった品種をつくるために行うものであることを、具体的事例から学べるようにする。</p>
工業生産	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>●自動車の製造工程についての理解に課題が見られる。</p>	<p>・複数の資料を比べ、共通点や相違点を見付ける活動を取り入れることで、工業の特色についての理解が深まるようにする。</p> <p>・自動車の製造工程に関しては、動画資料を積極的に活用したり、自動車会社のオンライン授業に参加したりすることで、知識の定着を図る。</p>
産業と情報との関わり	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>●販売業における情報の活用の仕方の理解が不十分である。</p>	<p>・日常生活と関わりの深い学習内容なので、児童の生活体験を生かした授業を展開する。販売業における情報の活用の仕方については、店側の立場で、与えられた情報から仕入れる商品を考える学習を取り入れる。</p>
日本の政治	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○租税の役割について理解ができている。</p> <p>●憲法の三原則の一つである基本的人権についての理解が不十分である。</p>	<p>・憲法の三原則については、定期的ミニテストを実施するなどして知識の定着を図るとともに、「もし原則がなかったら」という視点で日常生活について考えるなど、多様な視点で日本国憲法について考えられるようにする。</p>
日本の歴史	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>○豊臣秀吉の業績(刀狩り)について理解できている。</p> <p>●弥生時代についての理解が不十分である。</p>	<p>・歴史的な事象を理解させる際に、「もし自分だったらどうするか」という視点で考えることで、当事者意識をもたせるとともに、実際に行われたことについて調べることで、より理解が深まるようにする。また、歴史を大きな流れで捉えられるように、時代ごとの特徴を認識しやすい授業を展開する。</p>

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	82.5	72.1	74.6
	図形	82.1	76.5	76.1
	変化と関係	81.5	67.1	59.7
	データの活用	73.8	65.0	64.5
観点別	知識・技能	81.3	73.8	74.7
	思考・判断・表現	79.5	65.8	61.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

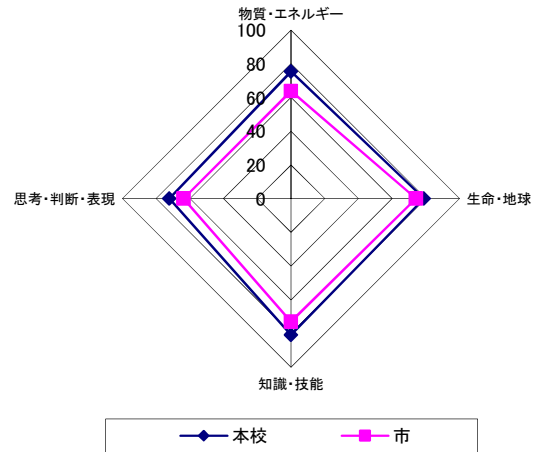
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○分数や小数の計算方法が定着している。</p> <p>○文章に合った式を立式したり、文字の値を求めたりすることが正確にできる。</p> <p>●比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるのかを求めることに課題が見られた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小数や分数の計算、文字を用いた式の立式を、朝の学習や宿題等で継続して学習していく。 ・数量の関係を数直線や図に表して整理する活動を取り入れ、立式の根拠を論理的に説明する力を養っていく。 ・ある数量がもう一方の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に除法が用いられることを理解させるとともに、図や式などを用いて数量の関係を考察する力を継続的に身に付けさせるようにする。
図形	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○面積を求める公式の理解が定着している。</p> <p>○点対称な図形、合同な三角形の作図方法を理解している。</p> <p>●三角形の外角の求め方、線対称な図形において対応する点についての理解が不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面積や体積を求める問題を朝の学習や宿題、授業の始め等で継続して学習していく。 ・図形の学習では、具体物やICTを取り入れることで視覚的に図形を捉え、図形の性質について理解を深めるようにする。
変化と関係	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○単位量あたりの大きさや速さの求め方の理解が定着している。</p> <p>○割合では基準量と割合から、比較量を求めることができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公式を再確認して応用的な問題を解かせることでさらに理解を深める。 ・割合の定義や、基準量と比較量の割合の関係を確認し、継続して類似問題等に取り組む。
データの活用	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○ドットプロット、度数分布表、ヒストグラムから正確に情報を読み取ることができる。</p> <p>●円グラフから情報を読み取ること課題が見られた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の学習や既習事項の復習として継続的に学習し、データの整理や分析をする力をさらに養っていく。 ・他のグラフと比較しながら読み取る活動を取り入れ、正確にデータを抜き出す力や円グラフの捉え方の定着を図る。 ・円グラフや帯グラフは、全体に対する部分の割合を見たり、部分どうしの割合を比べたりする活動を取り入れるようにする。

宇都宮市立上河内西小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	75.4	63.8	61.6
	生命・地球	78.8	74.1	73.3
観点別	知識・技能	80.8	73.0	71.3
	思考・判断・表現	72.2	63.8	62.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○電流のはたらきでは、電磁石の性質や、コイルの巻き数・乾電池のつなぎ方と電磁石の強さとの関係を理解できている。実験結果を比較しながら考察する学習を繰り返し行ったことが、理解の定着につながったと考えられる。</p> <p>○ふりこのきまりでは、ふりこの周期の測定方法や、条件を変えた実験の結果から規則性を捉えることができています。条件を一つずつ変えて確かめる実験を重視した指導が、成果として表れている。</p> <p>●物のとけ方では、「水よう液」の概念理解や、ろ過のしかたについて、実験操作と結果を結び付けて考えることに課題が見られた。</p>	<p>・物のとけ方について、溶解やろ過の過程を段階的に観察・操作する活動を充実させ、「水よう液」の成立条件を具体的事実から捉えられるようにする。</p> <p>・実験の操作の意味に着目させ、操作の違いが結果にどのように影響するかを確かめる活動を通して、概念形成を図る。</p> <p>・電流のはたらきやふりこのきまりで成果が見られた、条件を明確にした実験設定を生かし、数量や条件の違いによる変化を的確に捉える力を定着させる。</p> <p>・実験で得られたデータを基に、数量的・構造的に整理する力を高め、結果を根拠として説明する力の育成を図る。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○月と太陽では、月の形や位置の観察方法を身に付け、月・太陽・地球の位置関係と月の見え方の変化を理解できている。モデルを用いて位置関係を視覚的に捉える学習を行ってきたことが、理解の定着につながったと考えられる。</p> <p>○生物とかんきょうでは、食物連鎖や生物同士の関わりについて理解し、環境の変化による影響を推測することができています。図や資料を基に関係を整理しながら学習を進めてきたことが成果として表れている。</p> <p>●動物のからだのつくりとはたらきでは、心臓・血液のはたらきについて、知識と実験の目的を結び付けて考え、仮説を基に実験を構想する力に課題が見られた。</p>	<p>・動物のからだのつくりとはたらきについて、心臓と血液のはたらきを中心に、体内での血液の流れと臓器の役割を関連付けて捉えられるよう、モデルや図解を用いた学習を行う。</p> <p>・観察や資料を基に仮説を立てる場面を意図的に設定し、仮説に基づいて調べ方を考える学習を通して、科学的な見方・考え方を育成する。</p> <p>・月と太陽や生物とかんきょうで成果が見られた、位置関係や相互の関わりに着目する学習を継続し、現象を関係性から捉える力を高める。</p> <p>・調べた内容を、因果関係やつながりを意識して表現する活動を通して、科学的に説明する力の向上を図る。</p>

宇都宮市立上河内西小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
児童の自己調整力を高めるための授業改善	児童が「見通し・学習・振り返り」の学びのサイクルを回し、自ら学びに向かうことができるように、学習者にとって「分かる」「おもしろい」と感じる授業を展開するとともに、児童のメタ認知を促す自己評価と学びを価値付ける声掛けを行っている。	「学習していておもしろい／楽しいと思う」では、中・高学年は市より高い学年が多く、学びに前向きな姿が見られる。一方で、低学年は市より低い傾向があり、「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりの一層の工夫が必要である。また、「分かった点・分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」では、多くの学年で市より高い結果が見られ、振り返りを生かす力が育っている。今後は、低学年の意欲を高める授業改善を進めるとともに、全学年で振り返りを次の学習に生かす手立てとして位置付け、自己評価と価値付けの声掛けを継続し、学びのサイクルの定着を図る。
授業における話し合い活動の充実	授業の中に意識的に話し合いの場を設け、互いの考えを伝え合うだけにとどまらず、友達の意見と自分の意見を比べて聞いて、考えを深めたり修正したりして練り合いながら話し合いが行えるよう指導している。	「話し合いに自分から進んで参加」では、中・高学年を中心に市より高い傾向が見られ、対話に向かう姿勢が育っている。一方で、学年によっては市より低い学年もあり、発言のしやすさや対話の進め方の支援が課題である。今後は、全学年で「比べて聞く」「根拠を明確にする」「考えを修正してまとめる」視点を明確にした発問や、役割(聞き方・返し方)と可視化(メモ・ICT)を工夫し、参加のしやすさと練り合う話し合いの質を高めていく。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・国・県・市の結果から課題を系統的に整理し、全校で共通理解を図った上で、授業・朝の学習・家庭学習に意図的に位置付け、基礎・基本の定着を図る。
- ・「見通し→学習→振り返り」を単元で機能させ、振り返りを次の学習に生かす手立てとして位置付け、自己評価と言語化を継続して自己調整力を高める。
- ・話し合い活動は「参加」から「練り合い」へ質を高めるため、発問・対話の型・可視化を共通化し、根拠を基に考えを深めたり修正したりできる力を育成する。